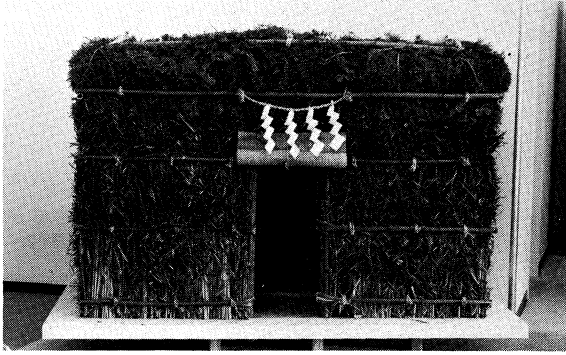


の地形模型があります。東西線で二分され、ボタン操作で北側がせり上りま
す。これによって火山泥流をはじめ、
地下構造が断面に現われます。裏磐梯
・猪苗代盆地・会津盆地の標高差が一
目で観察できます。「福島の鉱山」で
は、伝統技術復元調査で解明した八溝
砂金の採取法を、多くの道具で知らせ
てくれます。幕府の三大銀山の一つで
ある半田銀山の採掘用具と、銀の延べ
板及びその鋳型などを展示しています。
また、かつて京浜工業地帯を支えたエ
ネルギー基地常磐炭鉱の採掘用具一式
を揃えています。この展示室の最後は、
河川の源である尾瀬です。水力発電ラ
インと併せて高山植物まで、カラー・
コルトンで紹介しています。

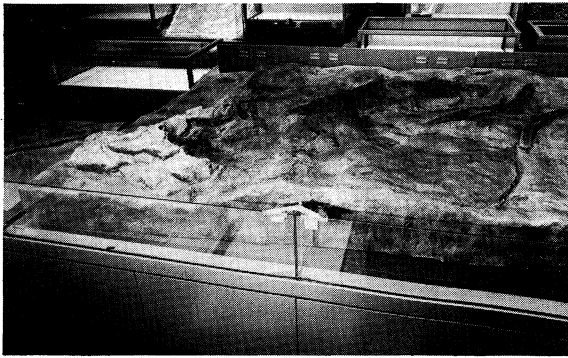


子どもたちの楽しい行事・トリ小屋

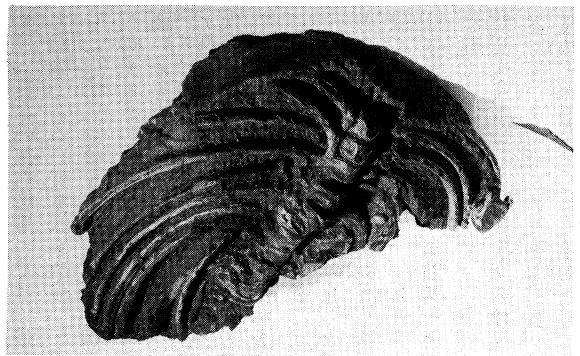
(二) 部門展示

民俗・自然・考古・歴史美術の各々
独立した展示によって構成する。部門
展示は、最も関心の高いテーマで専門
的な展示を行うことを目的とし、総合
展示を補い、理解の深度を高めること
をねらっています。

ア 民俗は、「福島の子どもの世界」
を扱い、安産祈願から成人（十五歳ぐ
らい）までの間を、七歳までは神のう
ち・遊びをせむとや生まれけむ・小さ
き者の声の三つのコーナーで展示して
います。幼児を神聖視することによつ
ていつくしみ遊びは子ども個々の生活



双葉町で発掘されたクジラの化石



梁川町で発掘されたパレオパラドキシアの化石

と見なすとともに、地域社会の中で役
割りを分担させ、一方成人への関門に
は厳しい試練を準備するなど、昔の子
どもの世界をクロージアップしています。
資料はすべてカラフルで、子どもは父母
の時代を、親は子どもの頃を追体験する
空間ということが出来ます。近世から
近現代の総合展示で民俗資料を多用し
たことから、民俗の部門展示では子ども
の世界に焦点をさしげることができまし
た。ここには映像展示が二つあり、一
つは「子どもの遊び」で、戦前の子ども
の服装で、四季の遊びを十数名で演じて
います。もう一つは「子どもの年中行事」
で、小正月・お盆の行事を中心に、四
季の年中行事で主役を演ずる子どもの
姿を紹介しています。

イ 自然は「県土の形成」のテーマ
で地史を展開します。これを、県土の基
盤の形成の時代・海の時代・隆起の時
代・段丘形成の時代の四つのコーナー
に分け、四億年前から一万年前までを
展示しています。

フロアには、双葉町で発掘したクジ
ラの化石を公開しています。周囲には、
動物・植物の化石や岩石類を陳列して
います。珍しいものでは、梁川町の広
瀬川の河床から発掘したパレオパラド
キシアの化石があります。これは、岐
阜・埼玉・梁川の他はアメリカにある
だけです。この四例のうち、梁川産の
ものは最も保存が良好です。カバに似
た両棲類の哺乳動物で、浅い海岸にす
み今から千五百万年前に、寒冷化によ
って絶滅したと考えられています。地
史は、岩石に含まれる化石によって編
年の裏付けをしています。その化石
には、目では識別できないような微
化石があります。これを顕微鏡で観察
できる展示を行っています。化石・岩
石は、学術資料であるばかりでなく、
自然が造形した美の世界でもあること
が理解できます。

ウ 考古は、自然の「段丘形成の時代」
を受けて、氷河期の旧石器時代から始
まる。「容器と利器の変遷」をテーマ
に、旧石器時代から近代までを対象と
しています。考古学では、土器の編年
が進み、土器の型式が年表の役割りを